

サンフレンズだより

No.37 2007.5.28
 発行：社会福祉法人 サンフレンズ
 編集：法人本部 事務局
 〒167-0023
 杉並区上井草3-33-10
 03-3394-9833

2006年度 事業報告および決算報告

事業報告

5月26日に開催した理事会・評議員会で、2006年度（2006年4月1日～2007年3月31日）の事業報告と決算が承認されました。紙面の都合により、事業報告は重点事項から抜粋、決算は、収支計算書と貸借対照表を掲載します。

2006年度の重点目標

1 新規事業の創設と事業規模の拡大

(1) 友愛の灯協会から移行された事業の円滑な運営

委託契約・請負であった友愛介護センター登録ヘルパー（友愛介護員）が非常勤職員（雇用関係）へ移行するため、説明会を10月に実施しました。

上記に関して非常勤職員就業規則を一部改正しました。給与については毎月の総給与額に変化がないように配慮しました。

法人全体の事業と訪問介護事業のサービス機能が一体的になり、きめ細かなサービスを展開していくには、相互の事業の課題等を理解し、具体策を検討していく必要があります。2007年度の目標とします。

(2) 介護予防の拠点となる「地域包括支援センター」の受託

ケア24 上井草においては玄関入り口を新たに設け、サンフレンズ居宅介護支援事業所との事務所の分離を行いました。

ケア24 善福寺は特に新しい包括支援センターとして、地域への周知、連携に力をいれました。主任ケアマネージャーの研修を受けた職員を中心に介護予防を通し、地域の居宅支援事業者との連携を強化しています。

月に一度の地域の協力員との地域連絡会の開催や勉強会等、地域とのネットワークづくりをすすめました。

(3) 善福寺三丁目特別養護老人ホームの建設

- ・2006年8月16日工事請負業者入札
- ・2006年8月27日善福寺住民への工事説明会
- ・2006年9月11日工事着工
- ・2006年11月16日杉並区内施設連絡会での説明会
- ・2006年11月21日杉並区広報にて入居申込み開始のお知らせ
- ・2006年12月より入居申込み受け付け開始
- ・施設名を特別養護老人ホームサンフレンズ善福寺に決定

法人内の善福寺プロジェクトチームでは、「開設宣言」を作成、介護のあり方を検討しました。

2 経営改革と運営基盤の整備・強化

(1) 経営の安定化

経費節減や業務の効率化については各事業所からその方策を出し、進めていますが、最終的な評価や検討までに至りませんでした。

利用者の確保については各事業所が努めています。しかし相談員が利用者・家族の相談や新規入所希望者への積極的な相談体制を十分とれていない現状があります。2007年度は組織体制の見直しや相談員のスキルアップを高めます。

利用料の未収がある事業所については、その事実・状況確認に努めています。2007年度も継続して取り組みます。

(2) 人材の確保

年度途中の退職が常勤・非常勤職員ともありました。各媒体を利用し、人材募集を頻回に実施しましたが、社会的に介護の人材確保が困難な中、上井草園と永福ふれあいの家では、年度後半は欠員補充ができないまま、派遣職員を利用して運営せざるを得ない状況が続きました。

上井草園においては年度末の看護師の産休や介護による退職があり、その補充が困難となり、1日3人体制であったものを、1日2人体制に減らしています。

次年度の職員採用については、学校訪問やワークフェアの参加、新聞折込広告による募集等で、介護職員を確保することができました。

当法人のアピールや地域貢献のなかで、人材確保につなげていく具体的な方策が欠けていました。今年度の学校訪問による関係を通して、さらに積極的な人材確保につなげます。

(3)労働環境の改善

超過勤務については、一年間を通し管理把握に努めてきました。数字的には昨年とほぼ横ばいでした。しかし、抜本的な業務改善策の検討や超勤を徹底的に減らしていく意識づけをしていくには至りませんでした。

有給休暇取得率については事業所毎のバラツキがあります。次年度も引き続き、計画的取得を行います。

(4)将来構想の具体化

新しいサンフレンズを考えるプロジェクト（上井草園、善福寺、ふれあいの家、居宅介護、友愛介護、事務改善、地域包括）を発足し、ほぼ一年間かけて話し合ってきました。

サンフレンズの理念に立ち戻りながら、トップダウン方式ではない、職員からの優れた検討結果報告がありました。

この結果を長期計画や次年度の事業計画に反映していきます。

3 地域に開かれた法人をめざして

(1)情報公開

事業所ごとのホームページ担当業務も役割化し、継続的に法人として一括したホームページの更新を行いました。

法人紙『サンフレンズだより』と各事業所からの通信紙を分け、利用者・家族にも見やすい、興味を持てる内容を目指しました。

介護サービス情報公開制度に基づき、逐次介護サービス内容等を公開しています。

(2)施設公開

2004年度から開始した施設公開を、2006年度も10月29日から11月5日まで実施しました。対象施設はサンフレンズ上井草（上井草園、上井草ふれあいの家、ケア24、居宅支援事業所）、永福・松ノ木・和泉ふれあいの家の4か所です。3年連続で実施しているサンフレンズ上井草では“参加型の施設公開”をキーワードに、実際施設で行っているプログラムやリハビリを公開し、地域の方に参加していただきました。サンフレンズ上井草の見学者数は47名でした。

(3)ボランティアや実習生の受け入れ

教員養成のための介護体験実習生や資格取得のための実習生を積極的に受け入れました。実習生の受け入れについては、実習生自身の目標に沿ったより個別な指導がなされてきています。

また、ボランティアは傾聴ボランティアの定着等、利用者と直接関われる部分にも参加しています。施設内だけではなく、外出や外食等にも参加していただきました。

ボランティア活動の調整役とも言えるボランティアコーディネーターは必要と考え、2007年度設置します。

4 職員の資質の向上

(1)職員研修の実施

2006年度の職員研修は延べ60回行ないました。内訳は、法人主体の研修16回、外部団体主体の研修44回となっています。研修の参加者総数は538人でした。

上井草園と上井草ふれあいの家では著名なアーティストとのアートデリバリー研修を年6回実施しました。利用者職員がアートとの出会いにより、豊かな経験と影響を受けました。

職員研修計画も見直しを図り、よりサンフレンズの理念に添った研修計画案が出されました。

(2)研修発表会の実施

将来構想具体化検討会に発した新しいサンフレンズを考える7つのプロジェクトの発表会を実施しました。

上井草と永福を会場とし、家族、地域の方の多数の参加をいただき、延べ160人の参加がありました。

(3)組織目標と自己申告

組織目標の設定と自己申告による目標設定も定着してきました。目標に添ったきめ細かな職員指導や動機づけにさらなる活用が必要です。

決算報告

収支計算書

(自)平成18年4月1日
(至)平成19年3月31日

法人名:社会福祉法人 サンフレンズ
会計合算名:社会福祉法人 サンフレンズ

(単位:円)

科目	合計	本部会計区分	上井草園会計区分	和田ふれあいの家会計区分	和泉ふれあいの家会計区分	松ノ木ふれあいの家会計区分	永福ふれあいの家会計区分	サンフレンズ福音寺会計区分	カア24番福寺会計区分	サンフレンズ友愛会計区分	みどりの里会計区分
経常活動による収支											
経常活動による収支(収入)											
介護福祉施設介護料収入	233,380,442	0	233,380,442	0	0	0	0	0	0	0	0
居宅介護料収入	694,629,254	0	199,475,942	84,778,953	90,303,385	65,857,596	167,155,854	0	0	87,057,724	0
居宅介護支援介護料収入	66,898,914	0	25,082,920	5,952,762	8,214,218	5,873,111	10,791,096	0	3,467,382	7,517,425	0
利用者等利用料収入	136,888,976	0	86,690,764	8,799,604	10,151,488	7,698,968	17,484,817	0	0	6,063,335	0
その他の事業収入	127,244,508	0	50,396,457	13,565,371	10,888,402	12,829,730	15,420,600	0	21,000,800	33,420	3,108,728
寄付金収入	14,222,000	14,027,000	35,000	5,000	125,000	10,000	20,000	0	0	0	0
借入金利息補助金収入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
受取利息配当金収入	797,093	700,000	16,061	3,001	3,136	0	15,264	56,911	192	2,528	0
雑収入	15,307,308	57,449	8,559,445	1,240,121	656,771	1,963,152	2,792,895	2,875	2,100	32,500	0
経常活動収入計(1)	1,289,368,495	14,784,449	603,637,031	114,344,812	120,342,400	94,232,557	213,680,326	59,786	24,470,474	100,706,932	3,108,728
経常活動による収支(支出)											
人件費支出	749,224,545	8,924,530	381,825,108	48,841,064	48,263,145	41,059,304	108,695,106	42,000	19,883,104	89,237,136	2,454,048
経費支出	408,633,864	2,523,442	187,771,844	42,297,615	41,553,898	40,431,656	75,069,302	3,640,005	5,921,169	9,424,933	0
(直接介護支出)	175,404,944	0	99,347,554	16,577,369	15,106,237	15,875,483	27,682,904	0	214,726	600,671	0
(一般管理支出)	233,228,920	2,523,442	88,424,290	25,720,246	26,447,661	24,556,173	47,386,398	3,640,005	5,706,443	8,824,262	0
利用者負担軽減額	355,403	0	238,940	27,854	20,136	39,491	23,838	0	0	5,144	0
借入金利息支出	6,863,374	0	0	0	0	0	0	6,863,374	0	0	0
経常活動支出計(2)	1,165,077,186	11,447,972	569,635,892	91,166,533	89,837,179	81,530,451	183,768,246	10,545,379	25,804,273	98,667,213	2,454,048
経常活動資金収支差額(3=1-2)	124,291,309	3,336,477	33,801,139	23,178,279	30,505,221	12,702,106	29,892,080	△10,485,593	△1,333,799	2,039,719	655,680
施設整備等による収支											
施設整備等による収支(収入)											
設備資金借入金収入	882,000,000	0	0	0	0	0	0	882,000,000	0	0	0
施設整備等補助金収入	657,282,000	0	0	0	0	0	0	657,282,000	0	0	0
施設整備等寄付金収入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
固定資産売却収入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
施設整備等収入計(4)	1,539,282,000	0	0	0	0	0	0	1,539,282,000	0	0	0
施設整備等による収支(支出)											
固定資産取得支出	1,099,344,546	0	3,887,870	893,786	3,245,970	256,725	6,707,190	1,082,428,800	1,186,605	737,800	0
施設整備等支出計(5)	1,099,344,546	0	3,887,870	893,786	3,245,970	256,725	6,707,190	1,082,428,800	1,186,605	737,800	0
施設整備等資金収支差額(6=4-5)	439,937,454	0	△3,887,870	△893,786	△3,245,970	△256,725	△6,707,190	456,853,400	△1,186,605	△737,800	0
財務活動による収支											
財務活動による収支(収入)											
長期運営資金借入金収入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
投資有価証券売却収入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
設備資金借入金元金償還補助金収入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
設備資金借入金元金償還寄付金収入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
長期運営資金借入金元金償還寄付金収入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
積立預金取崩収入	603,965	447,112	0	154,083	1,385	1,385	0	0	0	0	0
他会計区分繰入金収入	156,853	0	0	0	0	0	0	156,853	0	0	0
会計区分外繰入金収入	447,112	0	0	0	0	0	0	447,112	0	0	0
その他の収入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
財務活動等収入(7)	1,207,930	447,112	0	154,083	1,385	1,385	0	603,965	0	0	0
財務活動による収支(支出)											
設備資金借入金元金償還金支出	549,000,000	0	0	0	0	0	0	549,000,000	0	0	0
長期運営資金借入金元金償還金支出	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
投資有価証券取得支出	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
積立預金支出	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
他会計区分繰入金支出	156,853	0	0	154,083	1,385	1,385	0	0	0	0	0
会計区分外繰入金支出	447,112	447,112	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他の支出	281,404	0	281,404	0	0	0	0	0	0	0	0
財務活動等支出(8)	549,885,369	447,112	281,404	154,083	1,385	1,385	0	549,000,000	0	0	0
財務活動資金収支差額(9=7-8)	△548,677,439	0	△281,404	0	0	0	0	△548,396,035	0	0	0
予備費(10)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
当期資金収支差額合計(11=3+6+9-10)	15,551,324	3,336,477	29,631,865	22,284,493	27,259,251	12,445,381	23,184,890	△102,028,228	△2,520,404	1,301,919	655,680
前期末支払資金残高(12)	651,991,928	2,502,496	259,188,899	56,466,910	84,048,893	36,339,558	212,239,086	0	0	0	1,206,086
当期末支払資金残高(13=11+12)	667,543,252	5,838,973	288,820,764	78,751,403	111,308,144	48,784,939	235,423,976	△102,028,228	△2,520,404	1,301,919	1,861,766

貸借対照表

平成19年3月31日現在

法人名 社会福祉法人 サンフレンズ

(単位:円)

資 産 の 部				負 債 の 部			
勘 定 科 目	前年度末	当年度末	増 減	勘 定 科 目	前年度末	当年度末	増 減
流 動 資 産	(715,475,981)	(788,780,227)	(71,284,286)	流 動 負 債	(80,828,887)	(138,010,544)	(57,181,857)
現 金 預 金	539,188,858	499,813,127	△39,355,531	短期運営資金借入金			
有 価 証 券				未 払 金	59,833,870	87,988,277	8,134,807
未 収 金	172,722,845	177,407,294	4,684,849	施設整備等未払金	897,750	44,499,000	43,601,250
未 収 補 助 金	2,248,137	108,024,435	105,778,298	預 り 金	2,752,813	7,485,495	4,732,882
貯 蔵 品				前 受 金			
立 替 金				他会計区分借入金			
前 払 金	1,188,521	1,335,371	146,850	会計区分外借入金			
他会計区分貸付金				仮 受 金			
会計区分外貸付金				賞 与 引 当 金	17,344,854	18,057,772	712,918
仮 払 金	100,000	120,000	20,000	その他の流動負債			
その他の流動資産	50,000	80,000	10,000	固 定 負 債			
固 定 資 産	(188,505,359)	(1,248,451,210)	(1,079,945,851)	固 定 負 債	(23,308,470)	(357,755,810)	(334,449,340)
基 本 財 産	(15,000,000)	(809,988,800)	(794,988,800)	設備資金借入金		333,000,000	333,000,000
土 地		794,988,800	794,988,800	長期運営資金借入金			
建 物				長 期 預 り 金			
基本財産特定預金	15,000,000	15,000,000		退 職 給 与 引 当 金	23,308,470	24,755,810	1,449,340
その他の固定資産	(153,505,359)	(438,462,610)	(284,957,251)	その他の固定負債			
土 地				負 債 の 部 合 計	104,135,357	495,788,354	391,630,997
建 物		816,953	816,953	純 資 産 の 部			
構 築 物	959,514	871,170	△88,344	基 本 金	(15,000,000)	(15,000,000)	()
機 械 及 び 装 置				国庫補助金等特別積立金	(15,889,595)	(870,258,519)	(854,588,924)
車 輛 運 搬 具	42,838,285	43,150,078	311,811	そ の 他 の 積 立 金	(50,380,112)	(49,913,000)	(△447,112)
器 具 及 び 備 品	28,757,507	25,784,553	△2,972,954	移 行 時 特 別 積 立 金			
建 設 仮 勘 定	4,131,750	289,874,000	285,542,250	そ の 他 の 積 立 金	50,380,112	49,913,000	△447,112
権 利	358,400	358,400		次 期 繰 越 活 動 収 支 差 額	(898,798,258)	(804,273,584)	(105,477,308)
投 資 有 価 証 券				次 期 繰 越 活 動 収 支 差 額	898,798,258	804,273,584	105,477,308
移 行 時 特 別 積 立 預 金				(うち当期活動収支差額)	(177,388,480)	(105,030,188)	(△72,338,284)
移 行 時 繰 越 預 計 特 別 積 立 預 金	158,853		△158,853	純 資 産 の 部 合 計	779,845,983	1,539,445,083	759,599,120
そ の 他 の 積 立 資 産	49,913,000	49,913,000		資 産 の 部 合 計	883,981,320	2,035,211,437	1,151,230,117
そ の 他 の 積 立 預 金	447,112		△447,112	負 債 ・ 純 資 産 合 計	883,981,320	2,035,211,437	1,151,230,117
そ の 他 の 固 定 資 産	25,942,958	27,894,458	1,951,500				

脚注

	前 年 度 末		当 年 度 末
1 減価償却費の累計額	55,875,096	円	72,396,512
2 徴収不能引当金の額		円	735,797
3 移行時特別積立金の積立不足額		円	

2006年度事業報告・決算書の全文は、特別養護老人ホーム上井草園、和田・和泉・松ノ木・永福ふれあいの家、友愛介護センターに備えてあります。いつでも自由に閲覧していただけます。

サンフレンズ善福寺 開設に向けて

これまで、サンフレンズ善福寺の開設に向けて、工事の進捗状況や開設準備室室長の抱負などをお伝えしてきましたが、5月20日、無事に竣工となりました。今号では、建物と準備室に配属となった職員をご紹介します。

建築現場から...



写真上：居室には洗面台やトイレを完備しています。
写真右：ユニットごとに食堂があり、ミニキッチンで食事を温めることができます。



正面玄関から見た南棟2階です。



職員紹介

皆様、こんにちは。

私たちは特別養護老人ホーム「サンフレンズ善福寺開設準備室」所属の職員です。

現在は、8月のオープンに向けて開設準備をすすめています。

新人職員は6月に開設10周年をむかえる「上井草園」で日々研修をしています。
これからどうぞよろしくお願ひします。



管理職紹介

4月1日付の人事異動で就任しました所長および課長をご紹介します。

特別養護老人ホーム上井草園

介護課長・看護課長 笹川 美由紀

サンフレンズと私との出会いはまさに偶然の積み重ねでした。理事の皆様方からサンフレンズの創成期のお話を伺い、法人の目指すものをお聞きし、私もここで皆さんと共に働かせて頂きたいと思いました。

ご利用者の皆様やご家族様、地域の皆様、ボランティアでお越しいただく皆様に、「ここはなんだかホッとする」、「ここはなんだか明るいね」と、ついつい立ち寄りたくなるような上井草園でありたいと思っています。ふつつか者ですが、どうぞよろしくお願い致します。



高齢者在宅サービスセンター松の木ふれあいの家
サンフレンズ松ノ木支援センター

所長 若山 大地

4月から松ノ木ふれあいの家の所長に就任した若山大地です。

今年度より、入浴サービスも開始いたしました。檜のお風呂が香り良く、「ホッ」とできる空間になっています。

いつでも気軽にお尋ねください。お待ちしております。

サンフレンズ友愛介護センター

所長 亀村 実千代

サンフレンズへ移行し1年経過しました。質の高い訪問介護を提供できるよう努力しております。各ふれあいの家、居宅支援との連携をすすめ、高齢者支援の要となれるよう研鑽を積んでいきたいと思っています。



ボランティア紹介

第23回

「至誠神に通ず」

徳武 憲雄さん（1921年生まれ）



私と「永福ふれあいの家」のご縁は、愚妻が去る平成14年4月に新設の第三南陽園に入るまでの約1年間、即ち平成13年4月より、週3回、開設間もない永福ふれあいの家に通所させていただき、何かとお世話になったのが始まりです。

顧みれば、通所中は連絡帳に、日々の体調、様子、行動などを詳細に記載して頂き、記載された内容に一喜一憂した諸々のことが走馬灯の巡るごとく脳裏をかすめます。この間、所長様を始めとし、看護師、職員、運転手の皆様大変親切、丁寧しかも愛情を持って接していただきましたことに対し、深甚なる敬意を払うとともに紙上をお借りして、ここに改めて心からお礼申し上げます次第でございます。

このようなご縁から、平成15年6月からボランティアの一員として参加させていただきましたが、翌16年4月からは、既に御指導をされておられました小林、藤井両氏とともに書道を受け持ち、週3回、月・水・金の午後を担当させていただきました。また書道終了後は麻雀、囲碁のお相手をするなどして、今日に至り、只今では有意義な日々を過ごさせていただいております。

申すまでもなく「書」はリハビリのひとつとして心静かに書くのも良し、また願書することも良し、暫時、般若心経の“空”、無我の境地に浸る

のも良いのではないかと存じます。

書道に参加したいが「私は字が下手だから」と遠慮されている方が居られるやを聞き及んでいますが、書は先ず原則として45度で入る始筆、運筆、終筆等の筆順に注意し、その「コツ」をつかめば自分の気に入った書が書けるものと承知しております。（小生も書の基礎を学んだ頃、最初に教えられたことの一つです。）

さて、私は客年11月末、好天にも恵まれ、燃ゆるような紅葉に包まれた京都大覚寺、真言宗大本山を訪れ、法話を伺うと同時に、慣例としております般若心経の書写に参加し、納めてまいりました。

今年もこうして元気な姿で参加することができ、お互いの健康、無事を喜び、来年の再会を約束しました。

その節、説法の法話の最後に深く感銘し、心に刻まれた言葉がありました。それは“過去と他人は変えられないが、自分と未来は変えられる”という言葉でした。確かにそうです。“他人様や自分の過去”は厳然たる事実として取り消したり、変更したりできませんが、“自分と未来”については心の持ち方や、これからの生き方如何では変えることも可能で、今までとは異なった新しい道が見出せると首肯確信しました。私自身の終生の人生訓である「至誠神に通ず」とともに、折にふれ、この言葉を口ずさむ今日この頃の私です。

サンフレンズだより・ホームページへのご意見・ご感想をお寄せください

本部事務局 電話:3394-9833

FAX:3394-9834

担当:星

ホームページアドレス

<http://www.3friends.or.jp>

E mail アドレス

Kamiigusa@3friends.or.jp

法人への寄付金を賜り厚く御礼を申し上げます。
(2007年3月1日から2007年4月30日までにご寄付をいただいた順に掲載)
河邊尚之様・森山千賀子様・佐々倉純一様・藤井基男様・匿名希望1名様

サンフレンズ後援会から

5月13日に開催された総会で、会員の皆様からの会費やご寄付を、「サンフレンズ善福寺」に対する職員研修や車両購入の費用とすることを決定しました。

サンフレンズ後援会長からのメッセージ

サンフレンズ後援会

会長 青木利元

サンフレンズ後援会は、発足して幾年かたちますがこれまでこれという貢献をしてこなかったように思います。会員の皆さんからの会費や寄付金を大事に積み立て、サンフレンズがいざ飛躍しようするときに応援しようとして力を蓄えてきたわけです。こつこつと積み上げてきた甲斐があって、「ちりも積もれば山となる」のたとえのとおり、今年事業を開始する善福寺小規模特養の人材育成とサービス力・機動力向上のためにまとまった寄付を行うことができるようになりました。会員の皆様のこれまでのご協力を深く感謝するとともに、こうした貢献ができることをともに喜びたいと思います。

現在、公的介護保険制度は急速な高齢社会の成熟に伴ってその利用が拡大し、保険制度だけの市場規模でも7乃至8兆円の大きさを持つようになりました。保険外の有償サービスやボランティアによるサービス量なども含めたら、その市場規模は優に10兆円を超えるでしょう。今日本経済は、ようやく「失われた10年」といわれた長期的な低迷から脱出し

つつありますが、公的介護保険の実施がもたらした福祉サービスの生産、担い手の雇用、施設の建設などが経済の復活に何かしかの好影響を与えているといえるでしょう。

しかし、介護保険の利用拡大は、行財政改革を進める政府にとっては財政負担となります。昨年度実施された制度変更は、政府の支出を削減するためのものでした。聞くところによると、政府・制度見直しに関わる専門家は、保険料を20歳以上の成人から徴収することを考えているようです。もしそのような考え方が現実に実施されるとしたら、それは、介護保険制度が「保険制度」としては破綻しつつあることを示す動かぬ証拠となるでしょう。政策運営の中心にある団塊の世代は、自分たちのコストの付けを若い世代に負わせるではありません。中長期で見れば、介護サービスは果たして現行のような社会保険制度で提供するのがいいのかどうかを検討すべき時を迎えているように思います。

それでもなお、現実には、サンフレンズは効率化とサービスの質の向上という二兎を追わねばなりません。後援会からの援助は、サンフレンズの自立心をそこね依存心を芽生えさせるようなものになってはいけないわけです。私たちは、私たちのささやかな寄付が、サンフレンズのサービスの向上、付加価値の向上=パワーアップにつながることを願っています。

感謝録

2007年3月31日現在(多数のため敬称略とさせていただきます。)

ご寄付をいただいた方:大西久江、大友公二、金子功子、小坂明子、笹原典子、田辺紀行、杉並・老後を良くする会(友愛訪問員グループ及び西荻グループ)

個人会費を納入していただいた方:阿部青果、青木利元、赤澤敏子、石村延枝、磯部アイ子、伊藤双葉、岩本昭彦、浦島邦夫、海老沢俊彦、恵美加子、江村三冬、大友信勝、大西久江、大貫繁子、大場宏一、岡本波津子、小澤千鶴子、小沢久子、織田宏子、かつさや精肉店、金子功子、川合美智子、河周子、河潤之介、河辺尚之、きくや青果、久保定雄、桑原七重、小泉靖雄、川内十三子、小坂明子、小林五十鈴、小林牧子、笹原典子、小松原昭一郎、佐藤充弘、篠田阿津子、志磨陽子、志磨威也、下元志津子、白川すみ子、鈴木組、高月三世子、高橋勤、滝本保子、田寺俊治、田寺徳治、田寺由紀、店網恭子、田辺紀行、寺田俊子、徳田幸子、鳥井祥子、中島商店、中田英美子、中林起く代、中村夫美子、中山直芳、中山道子、仁平正夫、蓮沼達男、八島年子、羽場令人、馬場禮子、福田恭子、藤山邦子、古畑徳實、星野栄子、堀井薬局、松井茂夫、間世田美代、望月正子、安田陸男、山崎和一、横田英夫、吉岡順一

団体会費を納入していただいた方:新しいホームをつくる会、井荻地区民協、杉並・老後を良くする会、上井草商店街振興組合、ももの会